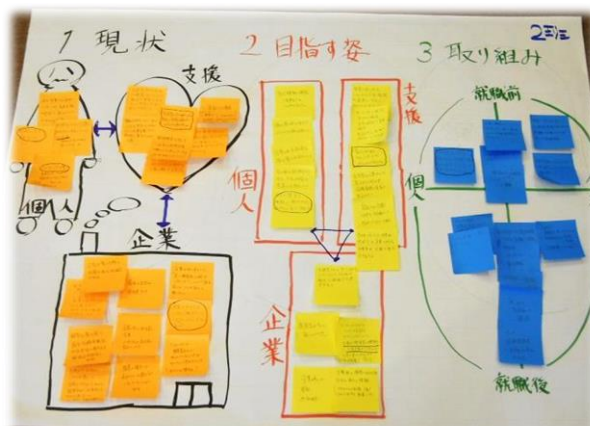


平成 27 年度及び平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	就労支援部会
目的	障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う
役割・内容	障がいのある方の職場定着に向けての具体的な取組みについて検討する
部会員	自立支援協議会委員：中村委員（部会長）、長谷川委員、松井委員 関係機関：静岡障害者職業センター、静岡市発達障害者支援センター
活動内容	<p>1 平成 27 年度第 4 回（H28.1.19） 就労移行支援事業所との意見交換会の実施 〈ゆうやけ相談会（仮）について〉 ・相談会の趣旨については概ね理解されたが、普段から関わりのない人への対応の難しさ、相談場所の確保、事業所側の負担、相談窓口の乱立等運営にあたっては課題が指摘され、再度支援策を検討することとなった。</p> <p>2 平成 28 年度第 1 回（H28.6.30） 就労移行支援事業所を交えてのワークショップ形式で実施 各事業所等での取組み、現状についての課題をグループワークで抽出 ↓ （企業の視点）本人の特性等についての事業所との調整や障がいの理解の必要性 等 （事業所の視点）一事業所での負担過多、事業所間での連携不足 等 （障がい者の視点）本人の就職に関する主体性、自己管理 等</p> <p style="text-align: right;">※ワークショップには、商業労政課、障害者福祉課も参加</p>
今後の予定 方向性など	第 1 回就労支援部会の現状・課題等を整理し、具体的な支援策について協議する。 （年度内全 3～4 回開催予定）



（参考）平成 28 年度第 1 回就労支援部会の活動の様子（平成 28 年 6 月 30 日）

専門部会の活動について

部会名	相談支援事業者評価部会
目的	質の高い相談体制を整備し、相談支援事業の充実・強化を図る
役割・内容	①市相談支援事業の評価基準・評価方法の検討 ②事業者評価の実施
部会員	自立支援協議会委員：鈴木委員、畠山委員、山本委員、望月（融）委員、長谷川委員 関係機関：静岡市身体障害者団体連合会、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静心会 オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課、地域リハビリテーション推進センター
活動予定	1 平成 28 年度評価体制（案）について ① 自己評価の実施 対象：障害者相談支援推進センター（1 箇所）・委託相談支援事業所（10 箇所） ② 事業評価の実施（利用者アンケート、ヒアリング等） 対象：重心（1 箇所）及び精神（3 箇所） 2 各評価の評価項目や評価基準について 8 月以降の評価部会等で決定する予定。 3 今後の実施方法（案） ① 自己評価：対象事業所（11 箇所）について毎年度実施 ② 事業評価：対象事業所を 4 グループに分け、毎年度 1 グループについて実施 H28 第 1 グループ→H29 第 2 グループ→H30 第 3 グループ→H31 第 4 グループ （以降第 1 グループに戻り順位実施） <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <pre> graph TD G1["第1グループ 重心相談支援事業所 (1 箇所) 精神相談支援事業所 (3 箇所)"] G2["第2グループ 身体相談支援事業所 (3 箇所)"] G3["第3グループ 知的相談支援事業所 (3 箇所)"] G4["第4グループ 相談支援推進センター (1 箇所)"] G1 --> G2 G2 --> G3 G3 --> G4 G4 --> G1 </pre> </div>
今後の予定 方向性など	8月 第 1 回部会の開催 9～10 月 利用者アンケートの実施 11～12 月 第 2 回部会の開催 2月 第 2 回障害者自立支援協議会において結果報告

専門部会の活動について

部会名	権利擁護・虐待防止部会
目的	障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。
役割・内容	①権利擁護・虐待防止に関する普及・啓発策の検討 ②虐待事例の情報共有及び検証 ③障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討 新規④障がい者差別解消に係るネットワークの構築、取組みに向けての検討（平成 28～29 年度）
部会員	自立支援協議会委員：江原委員、中村委員、原田委員、鈴木委員 関係機関：ひまわり事業団ピアサポート 李氏、社会福祉士 安藤氏 オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課
活動内容	1 平成 27 年度障がい者虐待事例検証会議の開催 【目的】弁護士、社会福祉士といった専門的視点からの事例検証と助言を求め、対応力の向上を図った 【日時】平成 28 年 3 月 17 日（木） 【会場】駿河区役所第 1・2 会議室 【テーマ】①経済的虐待と成年後見について ②障がい福祉から介護福祉への移行について 2 平成 28 年度権利擁護・虐待防止の部会の実施（H28.7.11） 今年度は主に下記の 2 点について協議、検討していくこととした。 ① 市長申立ての流れ、様式、標準処理期間等の設定について 他市の事例等を参考にしながら、市長申立ての流れの整理、必要となる書式の作成等、事務手続きの確認や見直しを行う ② 「障害者差別解消支援地域協議会」の設置に向けた取組み ア 平成 28 年 4 月「障害者差別解消法」の施行に伴い、障がいを理由とする差別を解消するための取組みを効果的かつ円滑に行う協議会の設置に向け、会議の役割や権限、メンバー、連携体制等必要な事項について、協議、検討する。 イ 障害者差別に関する相談事例の集約、共有 相談窓口となる相談支援事業所やその他関係機関に寄せられた相談を市が集約し、部会で情報共有していく。
今後の予定 方向性など	①市長申立ての流れ、様式、標準処理期間等の設定について ・市長申立ての流れ等と他都市の事例を参考にマニュアル化するなどの方法を検討 ②「障害者差別解消支援地域協議会」の設置に向けた取組み ・地域協議会の役割や権限、メンバー構成、連携体制のあり方等の設置に向けて必要な事項について、他都市の状況や相談事例を踏まえて協議する。 ・差別に関する相談事例の収集・共有

専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会	
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。 具体的な課題については、以下のとおりプロジェクトチームを設置。	
プロジェクト名	①行動に課題のある人への対応 (仮) 強度行動障がい者支援施設サポートプロジェクト	②ヘルパー不足への対応
役割・内容	「行動に課題のある人への支援」として、強度行動障がい者をサポートする施設の対応能力の向上を図る施策を検討、実施する	平成 27 年度各区連絡調整会議の地域課題としてあげられた「ヘルパー不足への対応」について、対応策を検討、実施する
部会員	自立支援協議会委員 佐野委員、望月（晃）委員、檜垣委員 関係機関 障害者等相談支援事業所 わだつみ 鈴木氏 福祉サービス事業所 穴原荘 遠藤氏	自立支援協議会委員 山本委員、望月（晃）委員、檜垣委員 関係機関 障がい者ヘルパー事業所ネットワーク静岡 ピロス 青野氏 移動支援事業所 めぶきの会 百花園
活動内容	1 平成 28 年度第 1 回 (H28.6.16) ① 座長、副座長の選出 座長として「障害者相談支援推進センター」堀越氏、副座長として「まあぶる」望月氏を選出 ② 平成 28 年度協議事項の検討 ア 行動に課題のある人への支援体制 強度行動障がい支援施設サポート事業の実施に向けた検討 イ 地域生活支援拠点事業の期待とニーズへの対応 地域生活支援拠点の地域における役割等整備に向けた検討	1 平成 28 年度第 1 回 (H28.6.13) ① プロジェクトの組織について 座長として「サポートセンターそら」山本氏を選出 ② 課題の説明 各区連絡調整会議事務局より平成 27 年度実施したアンケート結果等から挙げた「ヘルパー不足」の課題について説明を受けた。 今後、課題の整理、取組む内容について再度整理、検討することとした。
今後の予定 方向性など	ア 行動に課題のある人への支援体制 強度行動障がい支援施設サポート事業の実施に向けた体制や制度面の整備 イ 地域生活支援拠点事業 国の内示を受けて、地域生活支援拠点の地域における役割等整備に向けた検討	各区連絡調整会議事務局により実施したアンケート結果の詳細な分析や、障がい福祉サービスを提供する事業所や介護保険事業所、精神障害者に対応する事業所、計画相談支援事業所の意見収集により、課題を整理し、今後の取組む内容を検討する。

